

局ノ恩惑ヲカネテ政治運動ニ突入スルコトヲ躊躇シ、僅ニ會ニ政  
治部ヲ設ケ聯絡委員ヲ設置シテ之ニヨリテ對策ヲ決（大正十五年  
十一月四日中央委員會決定）スト定ムルガ如キ狀態デアツタ。

市當局ハ内面的ニ左翼勢力ノ瀰漫スル狀態ヲ看取シテ機會アルコ  
トニ左翼支持者ヲ削除スルノ方針ニ出タ、コノ方針ハ終始一貫現  
在ニ至ルキ些ノ變化ナク行ナレテ居ルガソノ手始ハ昭和二年二  
月左翼支持者タル中央委員三木光治、菅忠正ヲ解雇シタコトニ在  
ツタ、當時大問題トナツテ罷業モ懸念セラレタガ組合員ハ案外冷  
靜ヲ保ツタノデ平穩ニ解決シタガ、此ノ事ニヨツテ組合ハ組合力  
ノ無力ト充實ノ必要ヲ痛感シ、單ニ自己組合ノミナラズ愛友會、  
大阪電氣トモ共同戦線ヲ張ツテソノ進力ヲ利用セントシタ（昭和  
二年二月十九日従業員大會議）コノ主張ハ實現セナカッタガ今日  
共同戦線ヲ確立セル産働デアリ益々左翼方針ヲ採レル証左デアツ  
タ。

而シテ對内的ニハ共済組合、健康保險兩評議委員等ト連絡ヲトリ  
テ労働條件ノ改善ヲ迫リ（當ニ殆ンド拒絕サル）對外的ニハ評議  
會系組合ノ活躍ニヨリテ組織セル大阪労働組合會議ニ参加シ、或  
ハ政黨問題ニモ裏面的ニ参加シ、争議ニ對シテ南海争議（昭和二  
年七月）ニハ、セネストヲ叫ンデ之ヲ應援シ、或ハ新大阪従業員  
ノ組織ニ努ムル等、ノ活躍ヲナレタガ主トシテ對外的活動ニ主力  
ヲツクシ、常ニ組合員ヲ左翼ニ誘導セント試メ大衆的左翼運動ノ  
最頂點ニ達シタ。昭和二年八月今井國新電氣局長就任シタガ此ノ  
直後會内ニ「共產團體ト行動ヲ共ニスルヲ概シ」内閣ヲ改革セル  
トスル自助會改革同志會出現シ又一方エハ業ノ西區交通幹部ニシ  
テ當時交總書記タリシ遠藤喜一ハ會内ニ無政府主義ヲ唱ヘテ、「自  
助會解散協議會」ヲ組織セント散播シ、菅、三木等ハ前戦同盟ヲ  
組織シテ之ニ對抗セントスル等、會内ノ統制漸ク紊レ、爲ニ會費  
不納者急増スル狀勢トナツタ。